

ロンドン留学を振り返って

札幌校教員養成課程
言語・社会教育専攻 4年
高橋 諒

①留学経験から得たもの

私がこの留学で得られたものは数えきれないが、その中から3つ取り上げて説明したいと思います。

1つ目は、色々な物事に対する考え方が大きく変わったということです。私は留学前、特に政治や国際関係、環境問題等の社会問題に全く関心がありませんでした。しかし、現地の学生たちはそういった社会問題に強く関心を示し、中には学校でプロテスト等の運動を起こす学生もいました。多くの学生が、日常の何気ない会話の中で政治について話している姿を見て、日本では感じたことのないような驚きと刺激を感じました。日本の政治や歴史に関して聞かれた際に答えることができないこともあり、自分の知識不足を実感したことも多々ありました。それ以降、私は社会の色々なトピックに関するニュースを読むようになり、少しずつ他の学生の会話についていけるようになりました。

考え方の変化に関して言えば、多様化した社会を持つイギリスで、異なる文化や考え方を持つ他者を受け入れる能力を鍛えることができたと考えます。私は留学に行くまで海外に行った経験もなく、外国人に対して少なからず偏見や苦手意識を持っていました。しかし、イギリスでは全く異なる人種や国籍を持つ人々がお互いに認め合って生活をしていました。その中で私は多くの友達に出会い、会話をしていく中で、多様性を認めることこそイギリスの大切な文化であり、日本人には足りない能力だと感じました。「違う」から遠ざけるのではなく、その「違い」を認めて、歩み寄る力を身に付けることができたと思います。

2つ目は、上記の内容に少し関連してきますが、日本という国・日本人の良さと良くないところを改めて見つめ直すことができたということである。イギリスでは、多くのことに挑戦することができたと思います。現地でのアルバイト、ボランティア活動をしながらのホームステイ、現地のフットボールクラブに参加する等、他国の生活や考え方に強く触れることができました。その中で、日本とイギリスの多くの違いに気づくことができました。日本人の良さの例を挙げると、時間を守ること、接客などが丁寧であること、公共物を綺麗に保つこと等があります。それに対して、消極的、周りの目を気にし過ぎている等の短所にも気づくことができました。そういった違いに目を向けることで、イギリス人の良いところを吸収したり、日本人特有の良くないところを直したりすることができました。

こういった性格面での違いだけではなく、アルバイトをした際には働き方の違いを学ぶことができました。日本人がいかにか真面目で責任感を持って働いているのかを実感すると同時に、現地での人の働き方にも魅力を感じました。例えば、日本では働かなければならないというプレッシャーから、有給等を申請しにくい風潮があるが、海外では、PICやManagerの人でも積極的に休みを取っていた。働き方というのは日本人にとって大きな課題の1つであり、今後その問題について考えていく上で、海外の働き方を肌で感じることは大きな経験になったと思います。

3つ目は、自分がどういう人間なのかを改めて理解することができました。自分は今まで、多くの友達に恵まれて、支えられながら生きてきました。自ら行動を起こして、友好関係を広げていく能力は自分の中で1つの長所であると考えていましたが、それが異国の地でも同様に発揮さ

れるかどうかは分からず不安に感じていました。しかし、最終的に多くの友達に囲まれ、留学生活を終えることができました。第一言語ではない言語で、多くのコミュニティや交友関係を築くことができたことは、自分の長所を再認識することができたのと同時に、自信を深めることができました。留学は、改めて自分を見つめ直すことができる貴重な機会を与えてくれると思います。

②これから留学する学生へメッセージ

留学に行って後悔をすることは無いと思います。少なからず、新たな経験をするのはできるので、必ず人生にとってはプラスになります。しかし、必ずしも留学が成功するとは限らないと思います。もし部屋に引きこもって過ごしていれば、多くの出逢いや発見を逃します。考えて勉強・生活をしないと、語学力も向上しないと思います。自分の行動や考え次第で、どれだけ留学が学びのある豊かなものになるのかが決まると思います。私の経験談として、勇気を振り絞って話しかけに行ったことによって、その人と友達になり、そこから交友関係が広がっていったということが何度かありました。あの時話しかけていなかったら、きっと多くの人との出会いがなかったと思います。こういう1つ1つの行動が積み重なって、私の留学生活は豊かなものになりました。たくさん行動してたくさん失敗することが一番大切だと私は思います。

留学前は、やる気を出すのが難しいと思いますが勉強をした方が絶対に良いと思います。現地に行って、私がまず感じたのは、単語の意味が分からないと聞き取り以前に、聞いても理解できるわけがないということです。そのため最初はリスニングにすごく苦戦し、留学前にもっと勉強しておけばよかったと後悔しました。留学中に、アウトプットや色々な経験に時間をかけるためにも、できるだけ多くのインプットを留学前に入れることが一番効率の良い勉強方法だと思います。

(写真一番左) SOAS Sports Ball “A team of the year” の表彰時の写真



(写真センター) My farewell party in Dinwiddy House

